

## 特定保健指導におけるリピーター群の非成功要因に関する 研究へのご協力お願い

平成 20 年度に開始された医療制度改革において生活習慣病対策が重要な課題となり、当法人でも平成 22 年度より職員を対象として、特定保健指導が実施されています。今年度で特定保健指導も 6 年目を迎え、対象者の中には、複数回目の支援となる方が増え、リピーターが半数を占めています。生活習慣改善の必要性は理解しているが、行動変容に結びつかない、または継続できなかったという対象者がリピーターとなり、増えている中で、その要因と特定保健指導における支援プログラムの再構築を検討するための研究として「当法人の特定保健指導におけるリピーター群の非成功要因の検討～指導後アンケートと標準的な質問票の分析から～」を実施することとなりました。

つきましては、平成 25 年度～平成 26 年度の特定保健指導を実施した方を対象として、特定保健指導終了後のアンケート、及び、特定保健指導の実施前後の定期健康診断の結果と問診時に使用しました標準的な質問票の情報を使用させていただきたいと思えます。下記内容をご確認の上、ご協力いただきますようお願いいたします。

尚、研究への協力は任意であり、ご協力いただけない場合でも不利益を被ることはありません。

研究で得られたデータが、本研究の目的以外に使用されることはありません。

### 記

#### 1. 目的

本研究は、当法人の特定保健指導におけるリピーター群の非成功要因の特徴を明らかにすることを目的とする。

#### 2. 研究概要について

平成 25 年度～平成 26 年度の特定保健指導を実施した方を対象とし、リピーター群と非リピーター群にグループ分けする。特定保健指導 6 か月間終了時のアンケートと定期健康診断で記載しました標準的な質問票のデータを使用し、2 群間の  $\chi^2$  乗検定を行う。

内容：

##### 【指導後アンケート】

- ① 特定保健指導テキスト・体重記録表の使用感
- ② スタッフのサポート体制
- ③ 指導回数
- ④ 生活習慣改善意思とその理由

##### 【標準的な質問票】

- ① 生活習慣改善行動に関する 15 の項目

#### 3. 研究期間について

承認日より平成 29 年 1 月 28 日まで

#### 4. 個人情報保護について

研究データは連結可能匿名化とし、特定の個人を識別できる情報は、研究時、学会発表時には使用し

ません。

5. 研究結果公表について

研究結果につきましては、学会で公表する予定です。

6. 情報の管理、保存、廃棄

今回の結果で得られた情報、保存すべき資料などは、研究責任者が適切に保存し、学会発表終了1年後に適切に廃棄します。

7. データの二次利用

今回収集しましたデータは、目的以外使用しません。本研究で得たデータを他の研究に利用する場合には、再度計画書を作成し、臨床研究審査委員会に承認された後に使用します。

以上

今回の研究につきまして、ご自身の情報の使用を拒否される場合やご不明な点、内容詳細が知りたい場合は下記までご連絡をお願いいたします。

連絡先

聖マリアヘルスケアセンター 国際保健センター  
保健師 白水 彩乃 (内線：8195)